



プロ野球16球団構想 に伴うNPB機構改革

大阪体育大学

富山ゼミ I

稲次悠希 濱田匡志 左近圭吾

野添秀樹 木村海七未

大体大

Contents

緒言

私たちが考えた16球団構想

新設事例

新球団設立とその可能性

総括

大体大

緒言

プロ野球16球団構想

ってなんやねん？

緒言



プラス

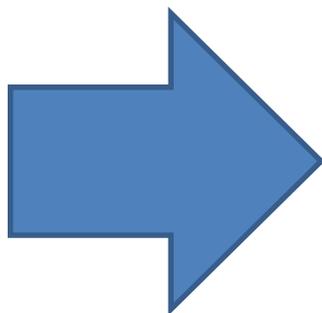
4球団



大体大

緒言

提案者は
静岡市長
と言われている。



- 静岡地にNPB球団がほしい
- 12球団合同トライアウトの誘致や東京六大学オールスターゲームの開催でアピール
- 他のNPB球団がない地域も巻き込みアピール

緒言

自民党の日本経済再生本部がまとめた政府への提言「日本再生ビジョン」にこの「プロ野球16球団構想」が盛り込まれた。

1番の目的は

プロ野球市場の拡大を通じた地域活性化

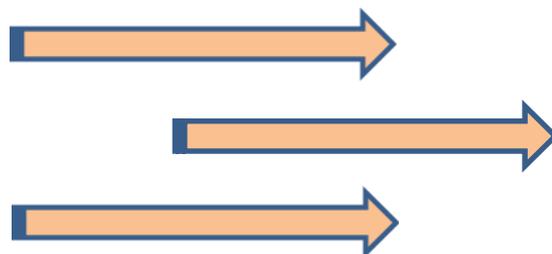
である。

大伴大

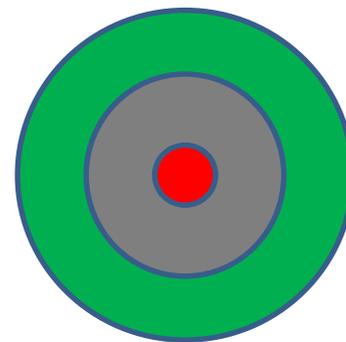
緒言

アベノミクスの第三の矢

公共事業
金融緩和
成長戦略



デフレ脱却



16球団構想は成長戦略に含まれる!!

Contents

緒言

私たちが考えた16球団構想

新設事例

新球団設立とその可能性

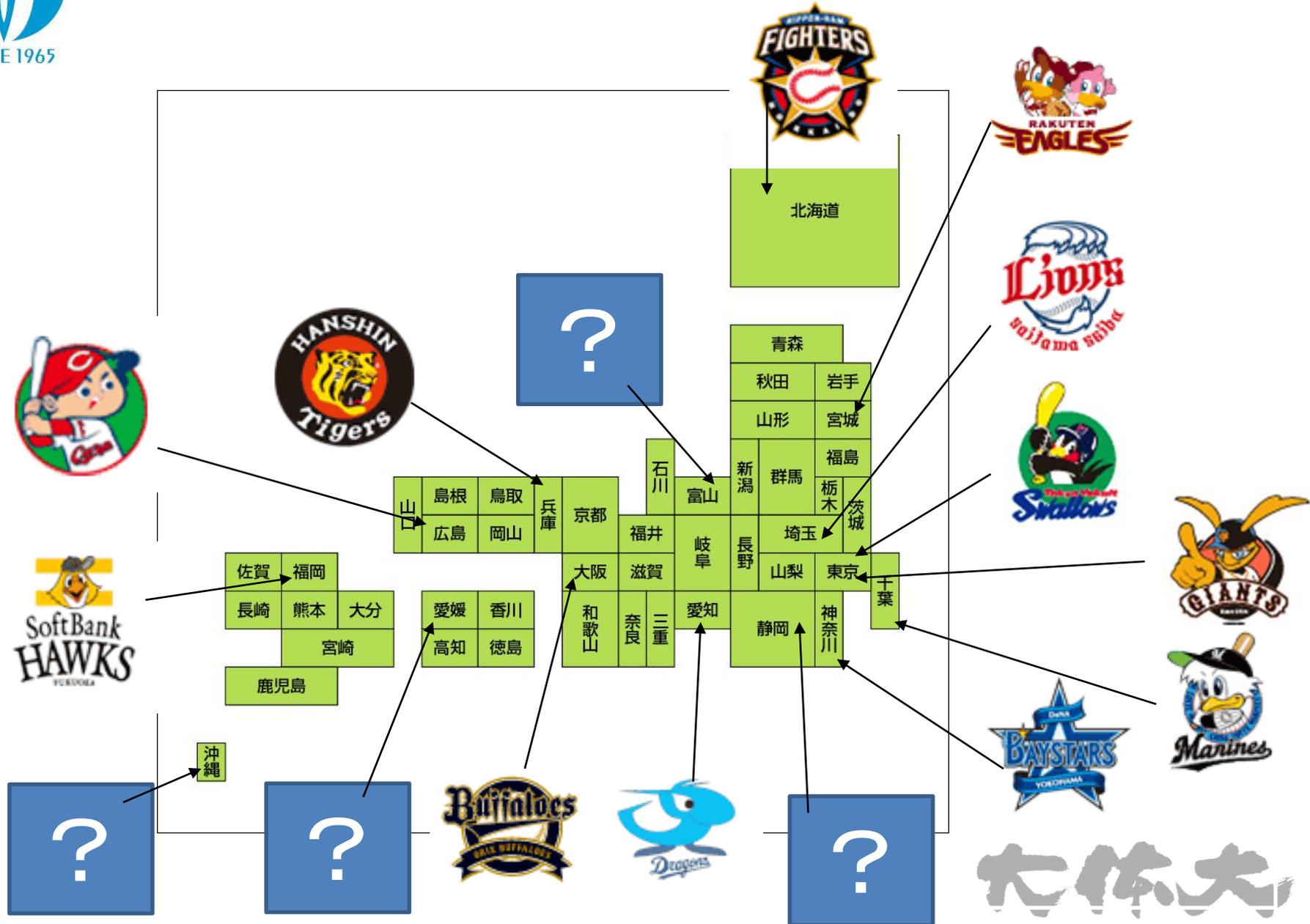
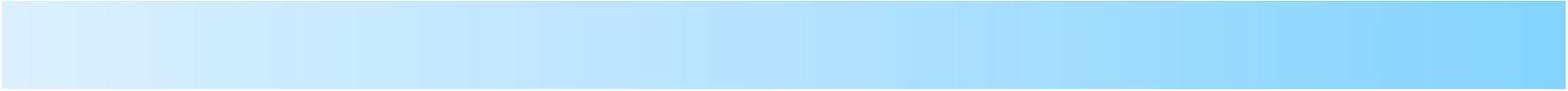
総括

大伴大

16球団構想 メリット

- 地域のさらなる活性化による観光客の増加
- プロ野球選手の増加によって身近な存在に
- 野球に対する新規ファンの獲得
- 観戦者の入場料収入、交通費、試合中継放送権による日本の経済効果向上

- プロ野球界に新たな旋風を巻き起こす！！



大体大

四県の可能性

富山県

北信越BCリーグに所属する富山サンダーバーズが存在し、選手の雇用がしやすい。

地味な北信越地方、富山県にプロ野球旋風を巻き起こし、地域の活性化につなげる。

四県の可能性

愛媛県

四国アイランドリーグが存在し、選手の雇用がしやすい。

遊園地などの娯楽施設が少ない四国に新たなプロ野球チーム、球場が出来れば観光客の増大につながる。



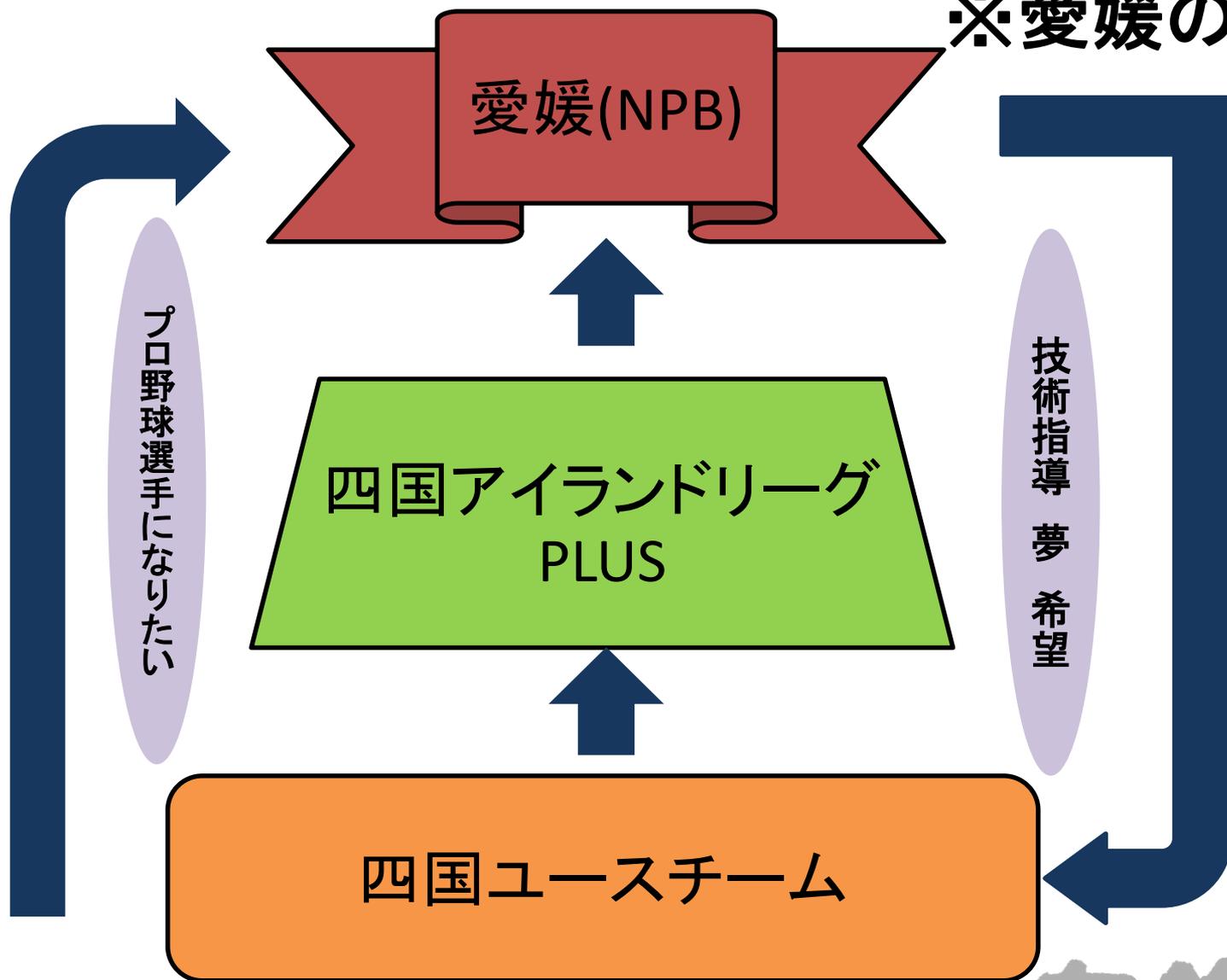
選手の雇用形態(愛媛 & 富山)

現在の独立リーグを新設チームの2軍と位置づけ、独立リーグの選手は1軍昇格を目指す。(一軍昇格＝NPB入り)

また、独立リーグの各チームには高校生以下を対象としたユースチームをつくり、未来のNPB選手を育てる。なお、このユースチームのすべての選手は他のNPB球団ではなく新設チームに所属することになる。

大体大

※愛媛の場合



四県の可能性

沖縄県

キャンプ地として有名で、プロ野球ファンは多く存在している。しかし、それは地元球団ではないため試合を目の前で見ることが困難である。そこに地元球団が出来ればファンの集客は見込まれる。

四県の可能性

静岡県

静岡市長がプロ野球球団招致に積極的である。
YAMAHAなどの大きな企業があり、Jリーグの
ジュビロ磐田、トップリーグのヤマハ発動機ジュ
ビロといった複数のプロチームを保有する組織
がある。

4リーグ制構想

現状のセ・パ2リーグ制だと新球団が参加した場合8チーム2リーグ制となり、試合数が増加する。それにより選手の負担が大きくなるので4チーム4リーグ制を考えた。

リーグ分け

A	B	C	D
1位	2位	3位	4位
8位	7位	6位	5位
9位	10位	11位	12位
16位	15位	14位	13位

1年目は新球団のみクジ引き
翌年からは全球団
順位で振り分けを行う



試合数

12球団2リーグ6球団		16球団4リーグ4球団	
6球団24回総当たり(リーグ戦)	360試合	4球団24回総当たり	144試合
他リーグ6球団4回総当たり(交流戦)	144試合	他リーグ12球団6回総当たり(交流戦)	288試合
1リーグ総合計	504試合	1リーグ総合計	432試合
年間試合数(1球団)	144試合	年間試合数(1球団)	144試合

Contents

緒言

私たちが考えた16球団構想

新設事例

新球団設立とその可能性

総括

新設事例

これから説明する新設事例をもとに
新球団設立を考えました。

チームの新設事例 (琉球ゴールデンキングス)

- 日本国内で在日アメリカ人の割合が多いのが沖縄。
- 在日アメリカ人の存在がバスケットボールの人気に繋がった。これをもとに、アメリカ4大スポーツである野球人気の拡大。
- 沖縄のスポーツ文化発展のカギを握るのは、在日アメリカ人である。

bjリーグ チーム別観客動員数

2010~2011年データ

チーム	ホーム 試合数	平均 観客数	標準 偏差σ	±1σ 試合数	±1σ 試合数%	最小 観客数	最大 観客数	999人 以下	1,000~ 1,499人	1,500~ 1,999人	2,000人 以上	
琉球	26	2,962	256	16	61.5%	2,423	3,384	0	0	0	26	
新潟	26	2,267	769	20	76.9%	1,136	4,077	0	2	11	13	
秋田	26	2,139	469	19	73.1%	1,301	3,371	0	3	7	16	
仙台	26	2,086	843	20	76.9%	1,053	5,064	0	6	8	12	
浜松	26	1,915	663	16	61.5%	1,020	3,610	0	8	6	12	
鳥根	26	1,835	345	17	65.4%	1,065	2,503	0	4	11	11	
大阪	26	1,774	391	20	76.9%	1,268	2,791	0	8	11	7	
滋賀	26	1,682	253	19	73.1%	1,230	2,221	0	6	17	3	
富山	26	1,618	291	16	61.5%	1,113	2,235	0	11	12	3	
埼玉	26	1,524	472	14	53.8%	857	2,431	3	12	4	7	
岩手	26	1,466	468	17	65.4%	543	2,414	4	12	5	5	
信州	26	1,272	300	18	69.2%	716	1,822	6	14	6	0	
福岡	26	1,148	480	21	80.8%	649	2,880	10	12	3	1	
京都	26	1,144	400	18	69.2%	665	2,229	10	12	2	2	
千葉	26	1,143	468	16	61.5%	476	2,404	8	10	7	1	
横浜	26	1,050	396	16	61.5%	350	2,110	15	5	5	1	
宮崎	26	881	194	18	69.2%	452	1,308	17	9	0	0	
高松	26	780	275	18	69.2%	466	1,486	20	6	0	0	
大分	26	727	523	24	92.3%	381	2,577	24	0	0	2	
リーグ平均	494	1,548	729	343	69.4%	350	5,064	117	140	115	122	
								割合	23.7%	28.3%	23.3%	24.7%

チームの新設事例 (東北楽天ゴールデンイーグルス)

- 今回目標に掲げているのが、都市集中型球団ではなく、地域密着型球団である
- 地域密着型球団を新設し、パリーグ全体の地域戦略に大きな影響を与えた東北楽天ゴールデンイーグルスのコンセプト(成功事例)をもとに、新球団四県の地域密着戦略を展開していく。

チームの新設事例 (アルビレックス新潟)

- 広く浅くの方針で、新潟県内を中心に170の企業・団体から出資を受け経営している。
- 単独の親会社の所有が、困難な沖縄への改善点として、上記のような複数企業が共同でチームを所有するアルビレックス方式を参考に沖縄への新球団設立を図る。
- 地方でもプロ球団の運営が可能である。

Contents

緒言

私たちが考えた16球団構想

新設事例

新球団設立とその可能性

総括



親会社候補企業



富山県 愛媛県 沖縄県 静岡県

大伴大



親会社(富山県)

企業名

三協立山株式会社

資本金

1852億円

会社概要

家具、インテリア業界。立山アルミなど

その他

北信越BCリーグのメインスポンサー
を担っている

大伴大



親会社(愛媛県)

企業名	大王製紙
資本金	304億円(平成26年3月期)
会社概要	紙、バルブ、日用品の製造販売植林事業
その他	家庭用品「エリエール」のブランドで知られている

大伴大

親会社(沖縄県)

企業名

米軍

思いやり予算

1848億円(2014年度)※参考

会社概要

日米地位協定に基づき日本国内に駐在するアメリカ軍

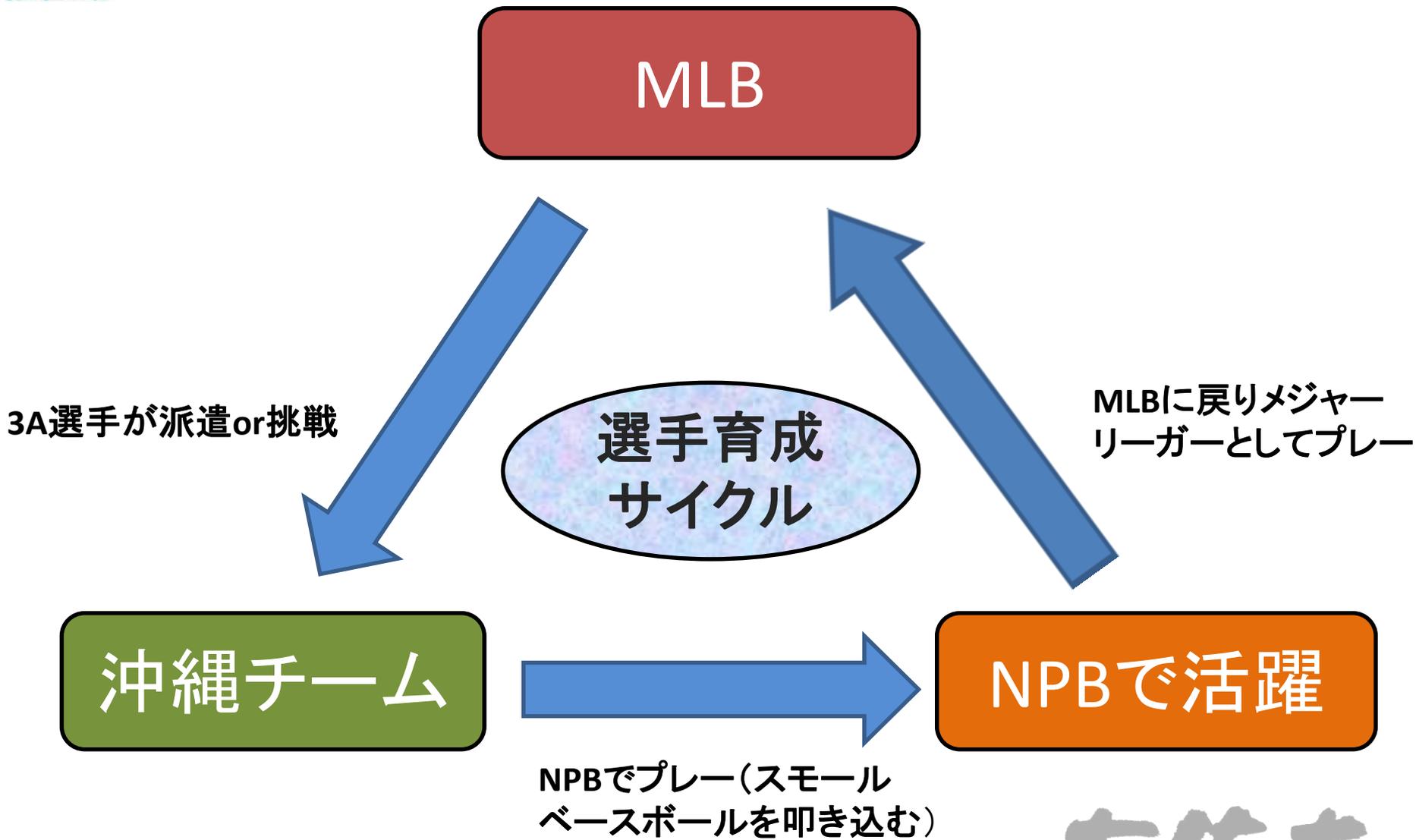
その他

基地問題は大きな社会問題であり、米軍が沖縄でスポーツチームを所有することで、基地問題の融和につなげる。

選手の雇用形態(沖縄)

沖縄チームは、すべての選手を米軍職員として雇用する。(MLBの3Aの選手など)

NPBで活躍した沖縄チームの選手もMLBに戻ってメジャーリーガーとなりプレーできるような選手を育てる場所としての確立を目指す。





親会社(静岡県)

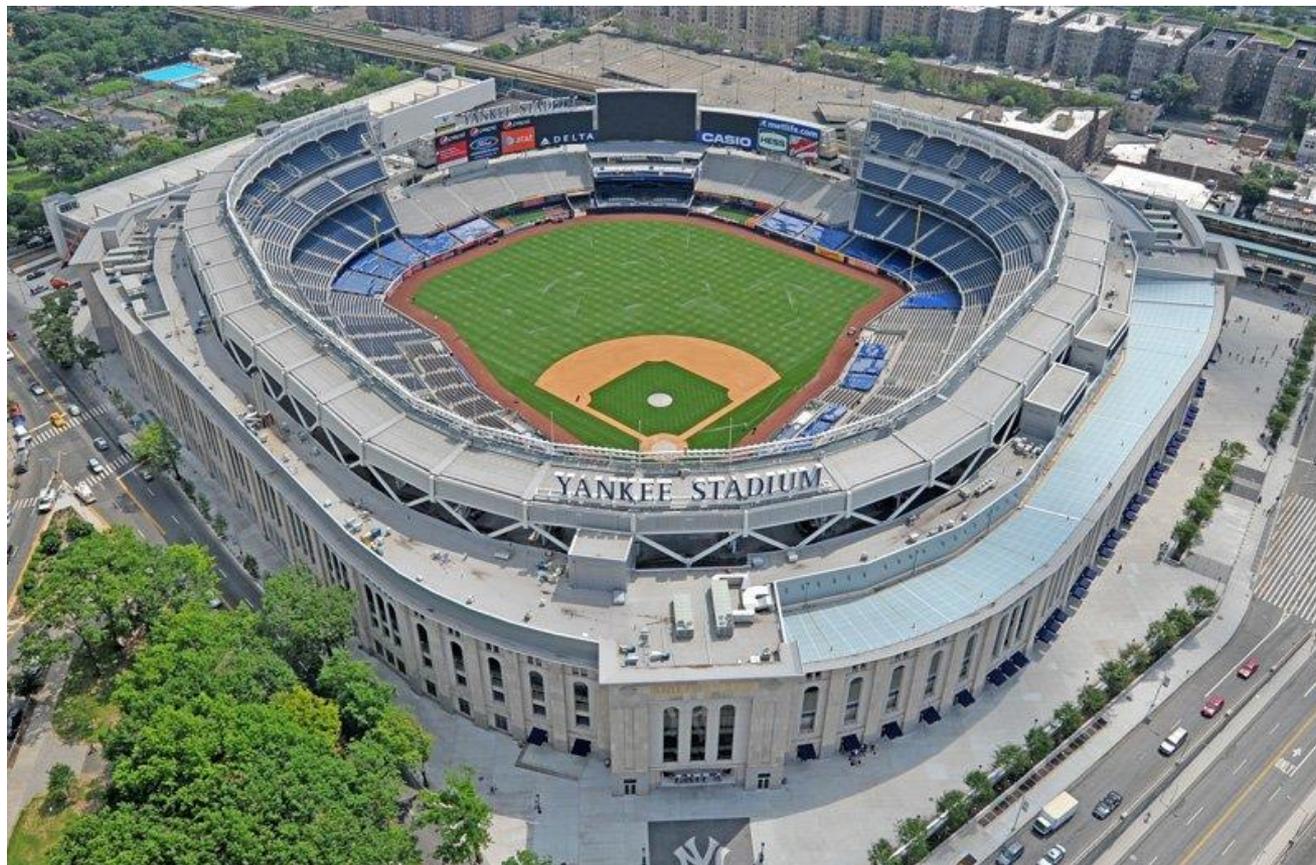
企業名 ヤマハ発動機株式会社

資本金 857億円

会社概要 モーターサイクル、電動アシスト自転車等の製造、販売。観光開発事業およびレジャー、レクリエーション施設の経営。また、野球部がある。

大体大

球場



富山県 愛媛県 沖縄県 静岡県

大休大

球場

球場名	収容人数	年間プロ野球試合数	周辺施設
東京ドーム (東京)	約46000人	67試合	東京ドームシティ (複合施設)
富山市民球場 (富山)	約30000人	2試合	体育館やフィットネ スルームなど
沖縄セルラースタジアム (沖縄)	約30000人	2試合	室内練習場やトレー ニングルームなど
坊ちゃんスタジアム (愛媛)	約30000人	2試合	松山中央公園
ヤマハスタジアム (静岡)	約15000人	なし	体育館

球場(富山県)

球場

富山市民球場



構想

超大型商業施設複合型球場
球場の周りに大型ショッピングモール
や、娯楽施設を創設し、県下No1の都
心地を目指す

その他

交通面は比較的充実

球場（愛媛県）



球場

坊ちゃんスタジアム

構想

現在でもスタジアムでは年間数試合の公式試合が行われている。四国初の大型娯楽施設を松山中央公園内に建設し球場と一体になった施設を作るのが理想であり、地元で親しまれる球場を建設。

大休大

球場（沖縄県）

球場

沖縄セルラースタジアム



構想

米軍チームの本拠地となるのでメジャーリーグの本拠地球場のようなホテルやオフィスを一体化させ、これまで日本になかった球場を作るのが理想。

球場（静岡県）

球場

ヤマハスタジアム



構想

ジュビロ磐田との連結により、札幌ドームのような、サッカーの試合も野球の試合もできる球場を創設



ファンの存在



大塚大

ファンの存在

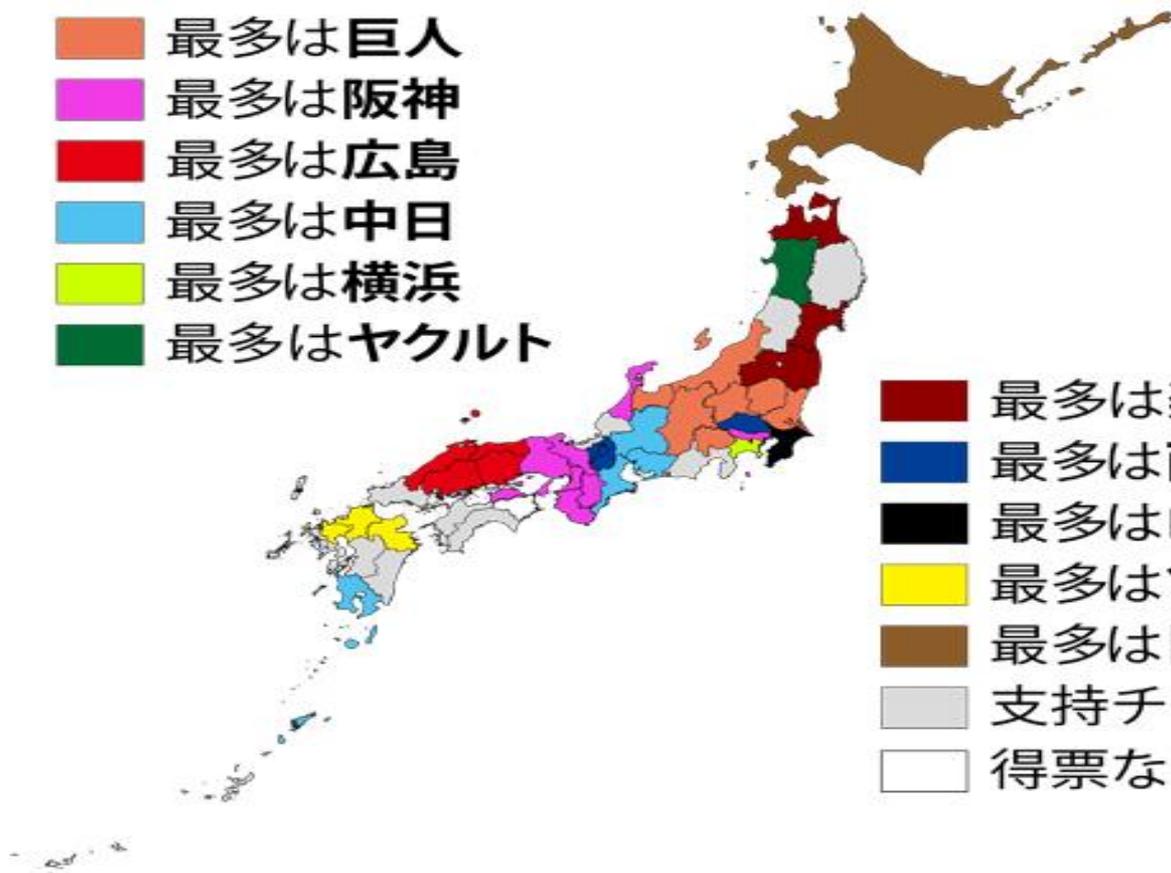
プロ野球において、ファンの存在というのは必要不可欠なものであり、チームを新設するにあたって、ファンを獲得することは重要なことである。

そこで、地元プロ野球チームがない県民はどの球団を応援しているのか。

新球団設立にあたり、ファンの地域性について考えてみた。

ファンの存在

- 最多は巨人
- 最多は阪神
- 最多は広島
- 最多は中日
- 最多は横浜
- 最多はヤクルト



- 最多は楽天
- 最多は西武
- 最多はロッテ
- 最多はソフトバンク
- 最多は日ハム
- 支持チーム混在
- 得票なし

<http://jtown.net/tokyo/column/gotochicolumn/116231Html>

大休大

ファンの存在

【北海道】(n=32)

1位	日本ハム	78.1%
2位	ソフトバンク	6.3%
	巨人	6.3%

【東北】(n=30)

1位	楽天	56.7%
2位	巨人	20.0%
	ソフトバンク	3.3%
3位	西武	3.3%
	日本ハム	3.3%

【関東】(n=262)

1位	巨人	33.6%
2位	西武	7.6%
3位	ソフトバンク	7.3%
	阪神	7.3%

【甲信越】(n=37)

1位	巨人	29.7%
2位	阪神	13.5%
3位	楽天	10.8%

【東海・北陸】(n=59)

1位	中日	49.2%
2位	巨人	15.3%
3位	阪神	13.6%

【近畿】(n=123)

1位	阪神	48.8%
2位	巨人	23.6%
3位	ソフトバンク	4.1%
	ヤクルト	4.1%

【中国】(n=31)

1位	広島	38.7%
2位	巨人	12.9%
3位	阪神	9.7%

【四国】(n=13)※参考値

1位	巨人	38.5%
2位	阪神	23.1%
3位	ソフトバンク	15.4%

【九州・沖縄】(n=38)

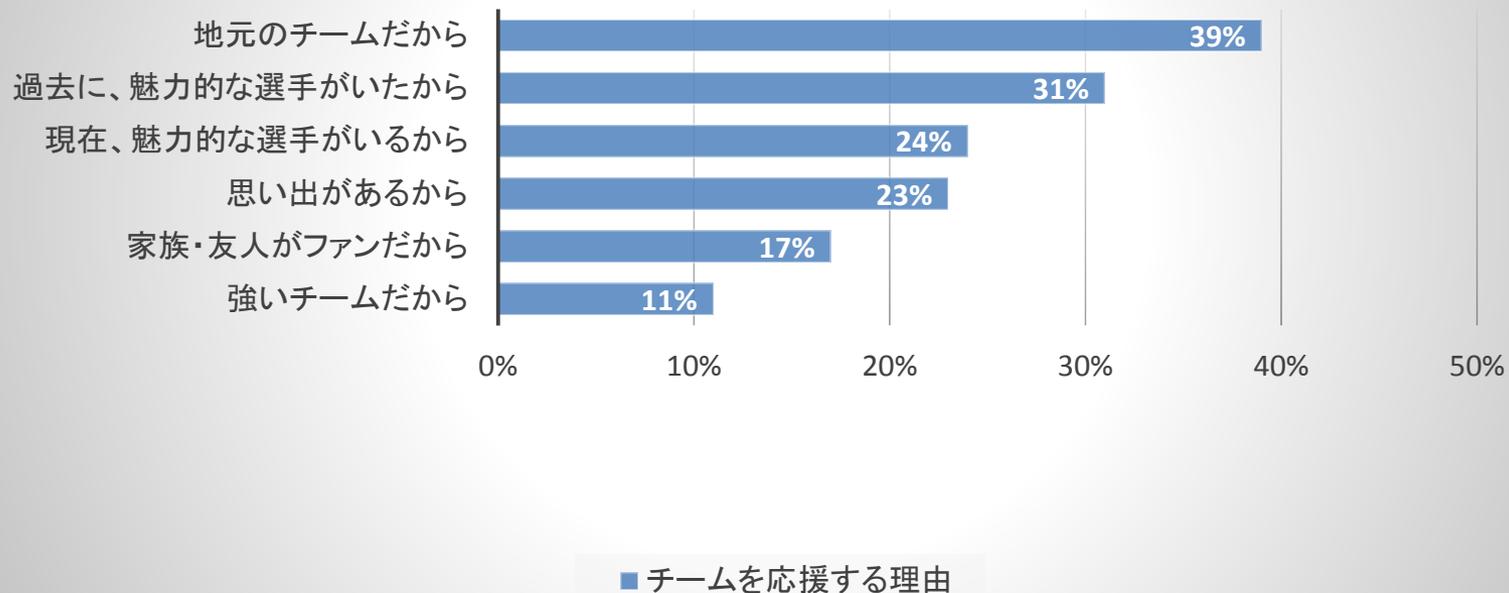
1位	ソフトバンク	63.2%
2位	巨人	10.5%
3位	西武	7.9%

富山県、信越地方
一位……巨人
静岡県、関東地方
一位……巨人
愛媛県、四国地方
一位……巨人

地元にはチームが無いから、
しかたなく巨人を……………
(○__○)

ファンの存在

チームを応援する理由



ファンの存在

現在の12球団のファン(巨人ファン)を分散させるのではなく、新規ファンの集客が必要。幸いにも。富山県、静岡県、愛媛県、沖縄県には、依存しているチームが無いことから、地元チームができれば新規ファンの集客がみこめる。

ファンの存在

球団に地域性を持たせることで、地域性を持ったファンが増加し、東北楽天ゴールデンイーグルスを足掛けとした、地域密着型のチームを新設できる。

Contents

緒言

私たちが考えた16球団構想

新設事例

新球団設立とその可能性

総括

大伴大

機構改革案

- 外国人枠の見直しによる米軍構想
- セ・パ4リーグ制構想
- 財源差がチームの戦力差とならない仕掛け
- 都市集中型を地方分散型へ
- 2軍のあり方
- 新球場構想

総括

今回提案した16球団構想が実現すれば、スポーツ振興を通して社会問題の解決、地域の活性化、および地域スポーツの発展など様々なメリットが考えられる。実現にはまだ多くの課題が残っているが、今後日本のスポーツ界、さらには日本全体の発展には、このような新たなスポーツ政策が必要であると考えて、私たち大阪体育大学富山ゼミは、この政策を提言しました。



ご清聴ありがとうございました。



大阪体育大学 富山研究室 I

大体大